

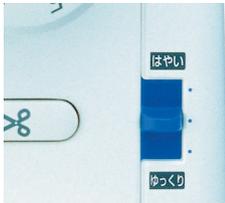
職業用本縫いミシンに新機能が加わりました SL-280EX / SL-280

縫い目の美しさと作業場を選ばないポータブル性で、専門学校やリフォーム業界など、洋裁のプロの方々を中心に大好評頂いております職業用ミンTL-25シリーズをベースに、2つの新機能が加わり、SL-280シリーズが登場しました。

【SL-280シリーズだけの新機能】



サブテンション:
ヨリの強い糸でも、ヨリ戻りや糸暴れを防止し、糸調子の安定した縫い目を作ることが出来ます。



スピードコントロールつまみ
コントローラー踏み込み時の最大速度を200～1500針/分の間で調整可能。ゆっくりスピードできれいに仕上げたい場合や、自分に合ったスピードを一定に保ちたいキルトのフリーモーションにも最適です。技量や用途に応じたソーイングが可能になりました。



仕様	SL-280 EX	SL-280
自動糸切り		-
使用針	工業用針DB×1	
最高縫い速度	200～1,500針/分(スピードコントロールで調整)	
最低縫い速度	55針/分	
縫い目長さ	0～6mm	
押え上昇量	レバー式/ひざ上げ式 12mm	
ミンの大きさ	幅452×高さ350×奥行219(mm)	
重量	11.3kg	10.4kg
補助テーブル装着時	幅700×高さ350×奥行277(mm)	
釜	工業用垂直全回転釜	
ボビンケース	倒立式ボビンケース	

SL-280EX(自動糸切り付き、工業用針採用)

希望小売価格162,750円(本体価格155,000円)

SL-280(工業用針採用)

希望小売価格147,000円(本体価格140,000円)

オーバーロック・カバーステッチ複合機 Collection MO-345DC

従来単独仕様であったオーバーロックとカバーステッチが、1台で可能になりました。

2・3・4本糸オーバーロックをはじめ、ワンタッチ巻き縫い切替で、全巻き縫いと細ロック縫いも簡単に設定できます。

カバーステッチは、2本針または3本針を選択でき、その他、インターロック、チェーンステッチも可能。オーバーロックでは、美しい風合いの縫い目を出すために、メスは固定で、糸すべり片のみ操作できるかがり幅微調整機構(マイクロアジャスト機構:特許申請中)を装備。また、最適な風合いを保ったまま、縫い目自体の幅を調節するため、メスと糸すべり片を同時に動かすかがり幅調節も可能。本格的な洋裁を行う方、さまざまなニット衣料の見本縫いやサンプル縫い等にも重宝する、高機能小型ロックミンです。

Collection MO-345DC

希望小売価格199,500円(本体価格190,000円)



仕様	MO-345DC
オーバーロック	4本糸:7～9mm
かがり幅	3本糸右針:5～7mm 左針:7～9mm
巻き縫い幅	1.8～2.2mm
カバーステッチ幅	2.5mm、5.0mm
使用針	シュメツ家庭用針 130×705Hタイプ(15×1H) #12、#14
最高縫い速度	1,500針/分
縫い目長さ	1～4mm
差動比	0.7～N(1)～2.0
押え上昇量	6mm
ミンの大きさ	幅315×高さ370×奥行285(mm)
重量	8kg

商品・販売店に関するお問合せ先: JUKI販売株式会社 家庭用事業部 各営業所
 北海道営業所 TEL:011-872-3022 東北営業所 TEL:024-576-6700
 大阪営業所 TEL:06-6310-9045 広島営業所 TEL:082-841-2130

東京営業所 TEL:042-489-1128 名古屋営業所 TEL:052-400-1244
 九州営業所 TEL:0942-23-7155



ガーナ

大活躍！ 町の仕立て屋さん

カカオ豆、金、木材などが収入源

「野口英世」、「カカオ」、「コーヒー・アナン(前国連事務総長)」、「ケープコースト港」これらから連想できる国は？ もし「ガーナ共和国」とわかればかなりのクイズ通かもしれません。

ガーナは日本人には、なじみがある国、40年前に発売されたチョコレートの名前に「ガーナ」が使われました。「ガーナ」といえばチョコレートを思いだす方は多いのではないのでしょうか。

「ガーナ共和国」はサブサハラ(サハラ砂漠の南)の中で、1957年に最初に独立した国。人口2120万人、1人あたりGDP 約400ドル(2004年)の国です。多くの部族が集まった国で、現在でも部族の文化が残され、ガーナ中部のアシヤンテ族のお祭りは有名です。いまでも部族の王様は大統領に次ぐ影響力があるとか。

コロンブスの新大陸発見後、西欧列強は競ってアメリカ大陸へ進出します。大陸の開発に、労働力として、2000万人ともいわれる奴隷がアフリカから海を渡りました。大西洋に面したケープコースト港はその奴隷輸出港。美しい景色、その名前の響きとは異なり、暗い歴史もある港です。現在のガーナはカカオ豆、金、木材などの天然資源や1次産品が主な外貨収入で、混迷するアフリカの国々の中では、政情の安定した国です。英国統治下にあったことから、緑も多く、街並みはわりと綺麗です。

多い小規模工場

ガーナの縫製工場は小規模。仕立て屋さんで成功した社長が、自宅の一部を工場にするなど、戦後すぐの日本の縫製工場とよく似ています。アフリカ特有のファッションが作られています。また、町のいたるところに仕立て屋さんを見かけます。家庭用シンを1~2台置いて、お客様の希望するデザインの洋服を作っています。

大きな通りには所狭しと露店が出ます。洋服、魚、かばん、果物、野菜、帽子やサングラス、ボールペン...何でもあります。値段は決まっていませんので交渉次第。道端の木陰には布を並べた生地屋さん、日本でいえば戦後のヤミ市が現在も続いているようなガーナの景色です。

一方、ビジネス街には、熱帯なのにスーツ上下をきちんと決め込んだ紳士、淑女も街を闊歩しています。その中に貫頭衣というのか、アフリカ独特の刺繍を施した、民族衣装の方もちらほら、ガーナの街は多彩なファッションが混在しています。

木陰の露店で気に入った布を選び、仕立て屋さんをたずねて自分の好きなデザインの服を作ってもらおう。これがガーナ流のおしゃれのようです・・・。

(浅井博康)



編集後記

団塊世代の大量退職は技術・技能の伝承が行われず、日本の技術が衰退するという危惧があります。今回登場した6人のマイスターたちは後輩の指導も行っている人、自分一代で終わりと云う人など色々でしたが、こういう人たちの社会的評価をもっと高めることが必要だと思われまます。また、レポートでは中国アパレルの生産基地が沿海部から中西部へ移動し始めた実状と中国国内販売企業的一端をお伝えしました。いかがだったでしょうか。

(知)



j m
JUKI Magazine

JUKIマガジン 2007年 VOL230
<http://www.juki.co.jp/jm/>

<通算230号> 2007年3月25日発行
発行：JUKI株式会社
<http://www.juki.co.jp>
企画：JUKIマガジン編集室
〒182-8655
東京都調布市国領町8-2-1
TEL.(03)3480-8500
FAX.(03)3480-7650
編集：生産技術情報センター
デザイン：志岐デザイン事務所

JUKI販売株式会社
各拠点/カスタマーセンター

本社〒182-0016 東京都調布市佐須町1-6-4
Tel(0424)99-3180 Fax(0424)99-33191
東北CC〒023-0023 岩手県奥州市水沢区八反町81-1
Tel(0197)25-2725 Fax(0197)25-2790
関東CC〒182-0016 東京都調布市佐須町1-6-4 2F
Tel(0424)80-4641 Fax(0424)80-4656
中部CC〒452-0961 愛知県西春日井郡春日町
大字落合字宮重町521
Tel(052)400-1234 Fax(052)400-9216
北陸CC〒920-0027 石川県金沢市駅西新町3-4-25
BM-111
Tel(076)224-8805 Fax(076)224-8806
近畿CC〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-17-18
Tel(06)6339-7124 Fax(06)6339-7136
中四国CC〒720-2419 広島県福山市加茂町上加茂290-1
Tel(084)972-3880 Fax(084)972-2380
四国CC〒794-0804 愛媛県今治市祇園町2-3-52
Tel(084)972-3880 Fax(0898)25-0334
九州CC〒839-0811 福岡県久留米市山川神代1-8-22
Tel(0942)44-1835 Fax(0942)44-9729